

令和6年度広島県環境県民局補助金等審査会海洋プラスチックごみ対策費部会 議事要旨

令和6年度海洋プラスチック対策（プラスチック使用量削減等）・リーディングプロジェクト支援補助金について、次のとおり審査した。

1 会議の概要

開催日時	令和6年5月23日（木）9：45～14：30
開催場所	広島YMCA 本館 4階 408
開催方法	対面又はオンラインでのプレゼンテーション審査
出席委員名	外部有識者：2名、県職員：3名
議題	令和6年度海洋プラスチック対策（プラスチック使用量削減等）・リーディングプロジェクト支援補助金に係る採択候補事業の選定
担当部署	環境県民局環境保全課瀬戸内海環境戦略グループ

2 議事要旨

広島県において、生活由来の海洋プラスチックごみの削減に資するリーディングプロジェクト（先導的な取組）を形成する観点から、(1)の評価項目のうち、「事業趣旨・内容」及び「実装可能性」に重点をおいて審査を行い、(2)のとおり6件を採択候補として選定した。

(1) 評価基準

評価項目	評価の視点	配点
①事業趣旨・内容	ワンウェイプラスチックの削減やプラスチック代替素材の利用促進、プラスチック資源の3R及びリニューアブルの拡大・高度化に資するものであるか	95
②新規性	これまでにない新規性や独創性、革新性を有しており、リーディングプロジェクトとして認められるものであるか	20
③実施体制	連携する事業者・団体ごとの役割が明確化されており、サプライチェーン全体による取組であるか	35
④実装可能性	市場ニーズや規模を考慮した上で、2020年代前半のうちに広島県内又は広島県を含む地域で社会実装化するための出口戦略が明確であるか	50
⑤経費の妥当性	計上された予算（経費）及び経費配分が、提案計画内容に見合った内容として、適正なものとなっているか	20
合計		220

(2) 評価結果

申請者	評価点					合計点 (220点)	選定結果及び評価コメント
	① (95点)	② (20点)	③ (35点)	④ (50点)	⑤ (20点)		
A	69.0	16.0	23.2	36.0	14.0	158.2	採択 県内1市の小中学校において導入試験するものであり、今後の県内への広がりが期待できる。小学生を通じた家庭への環境意識の共有により、波及効果が見込める点も評価できる。
B	66.8	16.0	24.6	33.4	12.0	152.8	採択 プラスチック端材の資源価値を高め循環させる仕組みであり、プラスチック使用量の削減が期待できる。ただし、消費者を巻き込んだ展開が十分とは言えないため、さらなる工夫を期待したい。
C	67.0	14.0	21.8	25.4	12.0	140.2	採択 実行性及び過年度事業から得た課題を踏まえた内容が評価できる。ただし、2020年代前半での社会実装化が不透明である。
D	62.4	12.0	19.8	26.6	12.0	132.8	採択 プラスチックの使用量削減に直結する取組であることは評価できる。ただし、事業の波及性や副次的効果が低く感じられる。
E	68.2	15.0	25.0	33.6	7.0	148.8	採択 新規性が高く、サプライチェーン及び消費者等の多様な関係者が行動できる仕組みづくりが図られている点が評価できる。
F	65.2	16.0	20.2	27.4	12.0	140.8	採択 ニーズの高い取組であり、海洋プラスチックごみの削減に直接寄与する点が評価できる。一方で、拡大展開には費用面の障壁が高く、早期の実装化に課題がある。

※本結果は、5名の委員の平均点によるものである。